

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	スポーツ実習Ⅲ(屋外球技)	1	大島 義晴	
平成25年度以前				
教職				教職
授業の到達目標及びテーマ <p>日本の一般成人による軟式野球チーム数は約34,500チーム。この中には、60歳以上の還暦野球が約450チーム、70歳以上の古希野球が約150チームを数えます。この数字が示すとおり、日本の軟式野球は多様なライフスタイルに合わせて楽しめるほか、親子三世代で競技に親しめる生涯スポーツなのです。この授業では競技者や観戦者として一般的に野球を楽しめる知識やスキルを学ぶこと。またグループにとどまらずにチームとして活動することの必要性を理解し、リーダーシップや助け合う心を養っていくことを目標とします。</p>				言語
授業の概要 <p>受講生のレベルに応じた内容に設定します。最終的にはゲーム形式が行える程度のスキルを身に付けます。授業ではバッティングおよび内野手としてのスキルを中心に進行します。ピッチャーを希望する受講生には練習方法等の資料を配布し、必要に応じて練習します。</p>				共通
授業計画 <p>第1回： ガイダンス(授業の進め方、評価方法、ルール、危険防止の説明)</p> <p>第2回： スローイングとキャッチング① 1対1でのキャッチボール</p> <p>第3回： スローイングとキャッチング② 複数人でのキャッチボール(ボール回し)</p> <p>第4回： ゴロを捕球する① ドリルによる捕球練習</p> <p>第5回： ゴロを捕球する② ドリルによるゴロ捕球から送球までの一連の動作</p> <p>第6回： ゴロを捕球する③ ノックによる実打球の捕球、ダブルプレーの練習</p> <p>第7回： バットを正確にコントロールする① 1対1でのトスバッティング(ペッパー)、下半身の使い方ドリル練習</p> <p>第8回： バットを正確にコントロールする② 1対2でのトスバッティング(ペッパー)、上半身の使い方ドリル練習</p> <p>第9回： ボールを遠くへ打つ 止まっているボールを打つ(ロングティー、ノック)</p> <p>第10回： 球速のあるボールを打つ ピッチングマシンを使用してバッティング練習</p> <p>第11回： ピッチャーの投球を打つ① 構え方、タイミングの合わせ方、ハーフバッティング</p> <p>第12回： ピッチャーの投球を打つ② 100km/h～110km/h程度の投球でフリーバッティング</p> <p>第13回： ゲーム形式 ピッチャーを外し、ティーボール形式で止まっているボールでのゲーム</p> <p>第14回： ゲーム 5回戦の紅白戦</p> <p>第15回： ゲーム 5回戦の紅白戦</p> <p>定期試験</p>				専門基礎
				法律一般
				政治行政
				経営法務
				スポーツ福祉
				演習
テキスト <p>必要に応じてプリントを配布します。</p>				25年度以前 共通科目
参考書・参考資料等 <p>必要に応じてプリントを配布します。</p>				
学生に対する評価 <p>各授業における習得の状態や理解度などを評価します。受講姿勢、他者への貢献度なども含めて総合的に評価し</p>				